

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ地方)	在リヨン領事館事務所 リヨン日本人センター治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 他	2008年3月31日	2008年3月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び領事館ルート	
調査項目:	邦人対象の治安情報 テロなどの一般治安情報 今月の出来事 その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、一般的傾向
- B、地区別 犯罪集計結果:補足文書 1
- C、多発の手口と場所の特定、防止策 :補足文書 2

A、一般的傾向

今月も路上での暴力を伴う盗難事件が数件報告されているので例を挙げておく。また、電話による詐欺事件については、ローヌ=アルプ地方での被害ではないものの類似した手口での犯行が今後出てくる可能性もあるので十分に注意したい。子供を乗せたままの車の盗難の被害は毎年数件報告されている。安全で慣れた地域だからといってエンジンをかけたまま車のそばを離れることのないように気をつけたい。

[補足文書 1]

B、地区別 犯罪集計結果

[補足文書 1]

2008年3月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アン県	イゼール県	ロワール県	合計
すり																	0
空き巣	1		1			1			1								4
置き引き					1					1		2	2				6
引ったくり			1														1
万引き																	0
強盗							1			2	1						4
窃盗(車・自転車)						1			1	2		4	1				9
カージャック											1						1
車内盗難	1	1										1					3
狼狽行為・強姦																	0
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	2	2	1	1	2	1	3	2	2	3			5				24
詐欺(カードなど)						1							1				2
拉致・誘拐																	0
破損・放火													2			1	3
ストーカー																	0
麻薬取引・所持													2			1	3
飲酒/無免許運転							1			1			1		1	2	3
その他										1			1	1	2		5
合計	4	3	3	1	3	4	5	2	4	10	2	7	15	1	4	0	68
備考欄:	リヨン東 Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons リヨン西 Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon リヨン南 Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison リヨン北 Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas																

[補足文書 2]

C,多発の手口と場所の特定・防止策(新聞による報道記事から)

電話による詐欺事件の発信元がリヨンと限定される

フィニステール県にて進められていた、プレストで被害が報告されている電話による詐欺事件の捜査の結果、電話の発信元がリヨンにあると断定された。ブルターニュ地方憲兵隊によると、犯行の手口は以下の通り。まず固定電話、または携帯電話に「残念なことに、あなたあての重要なメッセージがあります。メッセージの内容を知るには 0899650044 までお電話ください」というメッセージが残される。心配になった受信者らはこの番号に折り返し電話をするが、この番号は通話一回につき 1.35 ユーロ、以降一分ごとに 0.34 ユーロが加算される有料の電話番号であり、何の重要なメッセージもなかったというもの。現在 100 件ほどの被害届けが出ており、捜査が続けられている。(プログレ紙 3 月 1 日付)

同様の手口の詐欺事件が出現しており、見知らぬ人や番号からの折り返し電話をするようにというメッセージには、決して応答しないこと。子供のいる邦人は、子供にも注意しておくことが必要と思われる。

乳児を乗せた車が盗難の被害に

3 月 6 日午後 5 時ごろ、シャッシュー市で女性が車のエンジンをかけたまま生後 5 ヶ月の乳児を車内に残しほんの数分車のそばから離れたすきに、何者かが乳児を乗せたまま車を奪って逃走した。すぐに大掛かりな捜査体制が敷かれたが、午後 6 時ごろ犯人が警察に電話し、車のある場所を指定。乳児は無事保護された。(プログレ紙 3 月 7 日付)

安全な地域でほんの数分、と油断することなく、車を離れる際にはエンジンを止め扉をロックすることを忘れないこと。

カジノでの盗難事件

2 月 23 日午後 11 時 50 分ごろ、シャルボニエ市のカジノ・ル・リヨン・ヴェール内にて、カジノをしていた 30 歳の女性が小切手帳と現金 1000 ユーロを盗まれた。犯人は 3 人組で、一人が見張り役をし、一人が女性に近づいて、小切手帳と現金を盗む、そしてすぐ近くにいたもう一人の共犯にそれらを渡す。その後すぐにカジノを立ち去るという手口。被害に気がついた女性が、カジノの警備に通報。すぐに犯人が捕まった。(プログレ紙 3 月 25 日付)

カジノ、映画館、レストランなど人ごみの多い場所では、油断することなく周囲の状況に充分に注意すること。見知らぬ人物が近づいてきたら、携帯電話も含めた貴重品の入ったポケット、かばんなどに手を添えること。

引ったくりの被害でだけが

毎月のように、路上でのひったくり事件や暴力を伴った盗難事件が報告されている。下記の例にあるように、引ったくりの被害にあった場合反射的にかばんを引き寄せようとしてしまいがちであるが、大怪我をする可能性があることを忘れないこと。

3 月 14 日午後 10 時ごろ、ヴェニシュー市で 60 代の女性が引ったくりの被害にあった。若者が女性に近づいてハンドバックをひったくった際、女性は反射的にかばんの取っ手を引っ張って抵抗、犯人はそのままハンドバックを奪って逃走し、女性はひどく転倒した。(プログレ紙 3 月 17 日付)

引ったくりの被害に遭わないためには、かばんは道路とは反対方向に持つ、後ろから走ってくる人物、オートバイ、車などには注意することなどが大切である。

路上での暴力事件続く

相変わらず、路上での暴力事件が続いている。

- 3 月 3 日リヨン 2 区にて、31 歳の女性が 30 歳の男に脅され現金 40 ユーロを恐喝された。犯人はパトロール中の警察によって逮捕された。(プログレ紙 3 月 5 日付)
- 3 月 6 日、リヨン 8 区にて 18 歳の少女が 20 歳の少女に暴行を受け被害者のアパートの鍵を奪った。犯人は数分後に逮捕された。(プログレ紙 3 月 11 日付)
- 3 月 25 日午後 9 時 20 分ごろ、リヨン 7 区で 17 歳の少年が近づいてきた男にナイフで脅され、かばんと携帯電話を奪われた。(プログレ紙 3 月 27 日付)
- 3 月 23 日午前 3 時 45 分ごろリヨン 7 区で 29 歳の男性と 28 歳の女性が二人組の若い男に暴行を受け、男性は携帯電話を女性はハンドバックを奪われた。(プログレ紙 3 月 28 日付)

2.テロなどに関する一般治安情報

今月は一件の不審な荷物に関する騒ぎがあったが、その他の事件は報告されていない。

- 3月21日午後3時30分ごろ、ヴォー・オン・ヴラン市で不審な小包があるとの通報があった。ただちに警察と爆弾処理班が現場に到着。小包は爆破されたが爆弾らしきものは発見されなかった。この影響で付近を通るトラムウェイは一時不通となった。(プログレ紙3月22日付)

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ=アルプ地方における被害報告は特になし。(在リヨン領事館ソース)

4.リヨン、ローヌアルプ地方今月の出来事

市町村議員と県議会委員の選挙が行われる

3月9日と16日に、フランス全国で市町村議員と県議会委員(2001年に選出された半数)が行われた。リヨンでは、第一回投票で全9区のうち6区を左派が獲得。第二回投票でも左派の大勝利となった。(プログレ紙3月10日、日付)

先月のガス爆発で死亡した消防士の葬儀が行われる

2月末のファイエット通りで起きたガス爆発事故で死亡した消防士の公式葬儀が3月3日に行われた。リヨン都市圏の議員や内務大臣などが参加した。(プログレ紙3月4日付)

いくつかの建物はひどく損傷しており、いまだにアパートに帰るのことができない住民も多く、事故現場付近では、交通も中断されたままとなっている。

自動車教習所の教官らによるデモ

3月13日、自動車教習所の教官らによる全国的なデモがあった。リヨンでも800台もの車がジェルランから環状道路を回って県庁まで行進し、リヨンの交通は大きく混乱した。教官らは現在待ち時間が非常に長い免許取得試験の状況改善のための試験官増員を要求している。(プログレ紙3月13、14日付)

デブルース病院の小児科救急部門の閉鎖

リヨン5区とサント=フォア・レ・リヨンの境界にあるデブルース病院の小児科救急部門が3月16日一杯で閉鎖した。3月17日から24日までは小児科救急部門はリヨン3区のエドワール・エリオット病院(パビヨンS)に移動される。その後3月25日午前8時からリヨン市民病院の小児科救急部門は、ブロン市の母子医療専門病院に移される。(プログレ紙3月12日付)

リヨン国際見本市の開催

3月21日から31日までEUREXPOにてリヨン国際見本市が開催された。

5.その他の情報

生徒が教員を評価するインターネット・サイトが名指しのコメント削除を命じられる

2008年1月末に立ち上げられた、幼稚園から高等教育機関までの生徒、学生が教員を評価するサイトNote2be.comに対して、サイト内での名指しのコメントを削除するという裁判所の判決が下された。サイトでは生徒や学生らが自分の通っている教育機関の教員を評価できるようになっており、名指しでのコメントも記入できるようになっていた。これに対し、教員らが一方的なコメント記入で、回答の機会も与えられておらず名誉毀損になるとして裁判所に申し立てをしていた。今後サイトは存続するが、名指しのコメントの記入は不可能となる。(プログレ紙3月3日、4日付)

ガス漏れ事故が続く

先月末のファイエット通りでのガス漏れ事故の記憶が新しいが、今月も数件のガス漏れ事故が報告されている。3月12日にサン=ディディエ・オ・モンドール市でガス管が破裂し、市中心部に避難命令が出されたほか、同日にはリユー・ラ・パージュ市でも同様の事故が、そしてヴィルユバンヌ市でも改装中のアパートでもガス漏れ事故が報告されている。(プログレ紙3月13日付)

避難勧告が出された場合には、落ち着いて指示に従うこと。

Velo'v 修理工場の従業員が不法に部品を売却

金属の値段の高騰により、フランス全国で金属の盗難や不法な売買が多発しているが、リヨンの Velo'v 修理工場の従業員が部品を不法にくず鉄屋に売却していたことが明らかになった。初めは中古の部品を売却していたが最終的には 1.3 トンもの新品のアルミニウムをくず鉄屋に違法に売却していたことが判明。被害総額は 4 万 5,000 ユーロに及ぶとされ犯人の 3 人の従業員が逮捕された。(プログレ紙 3 月 29 日付)

花粉アレルギー

ローヌ=アルプ地方でも花粉アレルギーの季節が始まった。特にハンノキ、イトスギ、トリネコ、ハシバミ、ポプラに属する植物の花粉に関するアレルギーに注意。詳細は www.pollens.fr にて(プログレ紙 3 月 1 日付)